

の項目として取り上げるものを分類した。

② 個票の作成

次のような一人一人の個票を作成し項目別定着状況を把握した。

女子用個票				
総得点		学級での順位		氏名 ()
84		12 位		
No.	既習事項	本人の意欲	得点率	可否
1	be動詞の肯定文	○	100	○
2	be疑問、答え方	○	86	○
3	here, there	○	100	○
4	一般動詞肯定文	○	50	○
5	一般疑問肯定文	○	80	○
6	人称代名詞	○	75	○
7	人称代名詞所有	X	50	○
8	現在進行形	○	80	○

この個票をもとに、生徒一人一人の項目別意識調査と4領域への興味を考慮しながら、コースを設定し、生徒用「チアアップカード」と名づけたカードを配布した。また、生徒全員の毎時間のコースが把握できるように教師用のクラス一覧表も作成した。次の表はコース決定までの手順例である。

例 W子
 ・総得点 128点中67点 ・学級順位 20位
 [クラス平均点を下回った項目] ↓

be動詞の肯定文	一般動詞の肯定文	人称代名詞	命令文
be動詞の過去形	感嘆文	人称代名詞の複数形	
比較の文	単語		

上記項目の中で下記の全体指導で補充する項目と正答率50%を越えたものを削除

be動詞の肯定文	be動詞の過去形	感嘆文	単語
----------	----------	-----	----

人称代名詞と人称代名詞の複数形は1コースとしてコース別学習で取り扱うため、下記の4コースをこの生徒は行うことになった。

一般動詞の肯定文	命令文	比較の文	人称代名詞
----------	-----	------	-------

どのコースを何時間目に行うか決定する方法は、その項目を学習する生徒の数に応じて考えた。例えば、人称代名詞を学習する生徒は17名いたが、これらの17名を同じ日に行わせれば、教師の教材準備の負担は少なくすむ。このような配慮をしながら一人一人のコースの決定を行った。学習項目は1学年から学習時期を追って、あるいは、理解が比較的容易な事項等を考慮して教師用個票に並べてあるので、W子の行う4項目の中で項目番号の上のもの（ごく基本的なもの）と本人の落ち込みが特に目だつもの2つを選んで5時間目の再確認のためのコースを設定した。なお、W子は、4領域の中で「読むこと」の学習が好きと答えている（意識調査から）ので、6時間目は[Reading]のコースを設定した。このような手順で、W子のチアアップカードは下記のようになった。

C h e e r U p C a r d

Name ()

Good points

進行形	複数形	発音
一般動詞の過去形	時刻の表し方	疑問詞と文
冠詞	アクセント	

Try points

人称代名詞	比較
一般動詞	命令文

Course

1 人称代名詞	4 比較
2 一般動詞	5 人称代名詞 一般動詞
3 命令文	6 Reading

③ コースプリントの作成

生徒は、チアアップカードに書かれたコ